

エルビスの震災ボランティア

北光会九州支部のプロ歌手・エルビス吉川こと、BS51、吉川信孝さんが精力的に震災ボランティアを続けている。熊本県上益城郡益城町の木山仮設団地は、220戸の仮設住宅が建つ。7月21日(土)、昼前から広場のステージにエルビスの姿があった。梅雨が明けて暑い夏の一日、約200キロ離れた北九州市小倉南区の自宅から車に音響装置やギターを積み込んで駆けつけた。ステージのある広場には、テントや屋台が並び、避難している住民およそ1000人が集まった。カレーライスなどの食事もある賑わい、住民がエルビス・プレスリーのリズムに酔いしれた。ステージでは、地元の音楽仲間がブラメンコギターを披露し、子供達もダンスで花を添えた。震度7を観測し、死者50人、倒壊した建物8600棟を数えてから2年半経つが、今なお3万8000人が避難生活を送る。西日本豪雨では、避難生活を送る住民が広島へ向かい、復興ボランティアに立ち上がる恩返し動きも続く。エルビスは、普段は、自宅で手作りスモークチーズ工房「くん僅亭」を営み、奥さんが販売を担当している。



九州支部 中村靖 様より